

屋内用 テレビ・レコーダーブースター (家庭用)

UHF・BS・CS BOOSTER
増幅チャンネル UHF ch.13~52・BS・CS

EP2UBCTR

UHF BOOSTER
増幅チャンネル UHF ch.13~52
BS・CSパス回路内蔵

EP2UTRBC



取扱説明書



ご注意

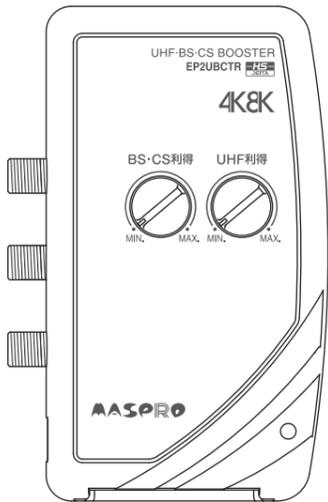
テレビ端子から短いケーブルでテレビに直接接続して、映りがすでに悪いときは効果を発揮できません。

付属品

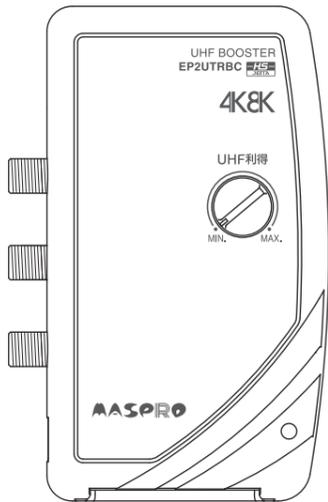
- ACアダプター…………… 1個 (USBタイプ) (コード約1.5m)
- メタルキャップ…………… 1個

3224MHz対応 スカパー!対応

FM・VHF、CATVには使用できません。



EP2UBCTR



EP2UTRBC

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。

4K8K 4K8K放送の信号を、より高品質で伝送するために、4K8K放送の伝送周波数帯域に対応した機器へマスプロ電工が表示しているマークです。

DIGITAL 各種デジタル放送の信号を、より高品質で伝送するために、携帯電話や無線通信などの電波から影響を受けにくい、高いシールド性能を備えた機器へマスプロ電工が表示している信頼のマークです。

HS JEITA HSマーク(ハイシールドマーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会にて審査・登録され、衛星テレビジョン放送の中間周波数帯域において、一定以上の遮へい性能を有する機器に付与されるシンボルマークです。

規格表

本体

項目	EP2UBCTR		EP2UTRBC	
	470 ~ 710MHz (UHF ch.13 ~ 52)	1032 ~ 3224MHz (BS・CS)	470 ~ 710MHz (UHF ch.13 ~ 52)	1032 ~ 3224MHz (BS・CS)
伝送周波数帯域	470 ~ 710MHz (UHF ch.13 ~ 52)	1032 ~ 3224MHz (BS・CS)	470 ~ 710MHz (UHF ch.13 ~ 52)	1032 ~ 3224MHz (BS・CS)
利得	20 ~ 27dB	15 ~ 25dB	20 ~ 27dB	—
通過帯域損失	—	—	—	12dB以下
利得調整範囲	0~⊕10dB以上 (連続可変)	0~⊕10dB以上 (連続可変)	0~⊕10dB以上 (連続可変)	—
雑音指数	4dB以下	8dB以下	4dB以下	—
実用入力レベル	44 ~ 63dBμV	48 ~ 65dBμV	44 ~ 63dBμV	—
定格出力レベル	90dBμV (9波)	90dBμV (50波)	90dBμV (9波)	—
相互変調	IM2	⊖31dB以下	—	—
	IM3	⊖68dB以下	⊖61dB以下	—
VSWR	3以下	2.5以下	3以下	2.5以下
入・出カインピーダンス	75Ω (F型端子)		75Ω (F型端子)	
電源	DC5V 0.24A		DC5V 0.12A	
使用温度範囲	0 ~ ⊕40°C		0 ~ ⊕40°C	
外観寸法	137 (H) × 89 (W) × 31 (D) mm		137 (H) × 89 (W) × 31 (D) mm	
質量 (重量)	約210g		約200g	

ACアダプター

項目	規格
1次電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	EP2UBCTR: 1.7W/3.5VA、EP2UTRBC: 0.9W/2.1VA
出力電圧 (電流)	DC5V (最大1A)
使用温度範囲	0 ~ ⊕40°C
外観寸法	57 (H) × 70 (W) × 30 (D) mm
質量 (重量)	約80g

マスプロ電工

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談 **0570-091119**

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます。IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366** 受付時間 9~12時、13~17時 (土・日・祝日、当社休業日を除く)

営業部 TEL名古屋(052)802-2244 受付時間 9~17時45分 (土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

- 製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。
- この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールに従ってください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

- 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示の例
- 記号は、禁止の行為を示しています。
 - 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告

- ACアダプターはAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ブースターおよびACアダプターの内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
 - ・押し入れ・本箱・天井裏など風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
 - ・布や布団でおおったり、包んだりする。
- ブースターおよびACアダプターのケースを取外したり、改造したりしないでください。また、ブースターおよびACアダプターの内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は必ず販売店にご依頼ください。
- ブースターおよびACアダプターを、風呂場・シャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で、ACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 雷が鳴出したら、ブースターおよびACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

- ブースターおよびACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしないようにしてください。ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。ペットなどの動物が、ACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 万一、ブースターおよびACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、ブースターおよびACアダプターを落としたり、ケースを破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音が出るなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをACコンセントから抜き、煙や臭いなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また、テレビの画像が映らない、音声が出ないなどの症状があるときも、テレビと共にACアダプターをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。

警告

- ブースターおよびACアダプターは、必ずセットでご使用ください。他の機器または他メーカーのものと一緒に使用しないでください。火災の原因となります。
- ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差し込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

注意

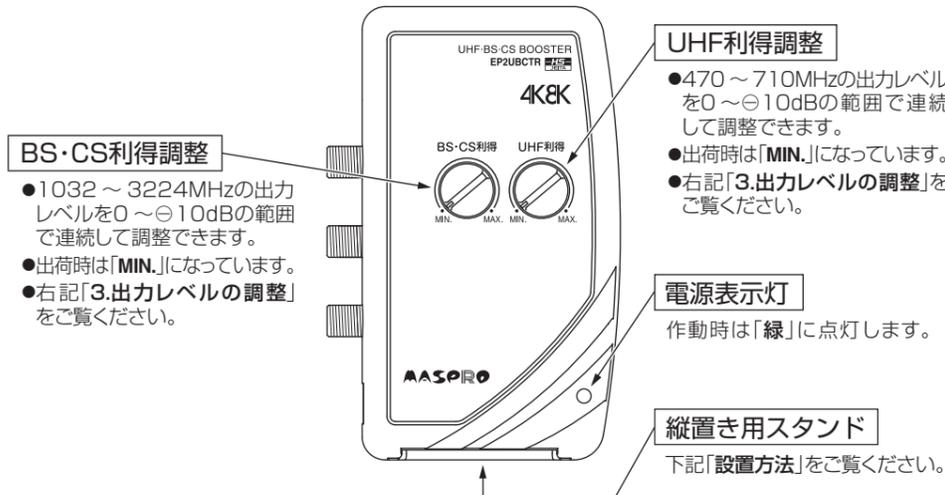
- ブースターおよびACアダプターは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ブースターおよびACアダプターは、不安定な場所に置いたり、取付けたりしないでください。落下して、けがの原因となることがあります。壁に設置する場合、接着剤やテープなどで取付けしないでください。
- ブースターおよびACアダプターは、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプターは、ACコンセントから抜きやすい場所に設置してください。
- 旅行などで長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- お手入れは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- 雷の発生が予想されるときは、前もって、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
- テレビやレコーダーからの75Ωケーブルをブースターへ接続するときは、テレビやレコーダーのACプラグをACコンセントから抜いてください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。

各部の名称と機能

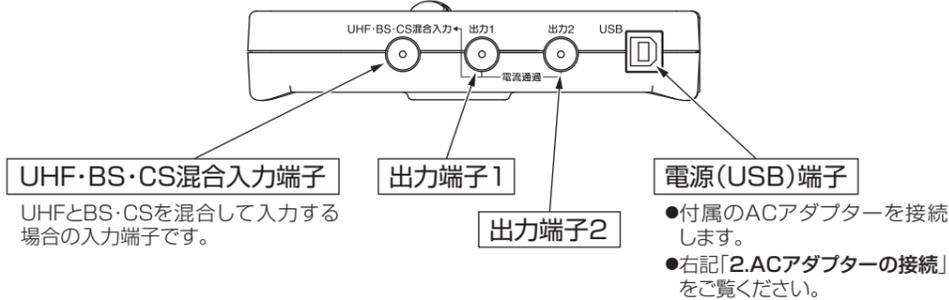
ご注意

利得調整を操作するときは、無理に回すと、こわれることがあります。

前面

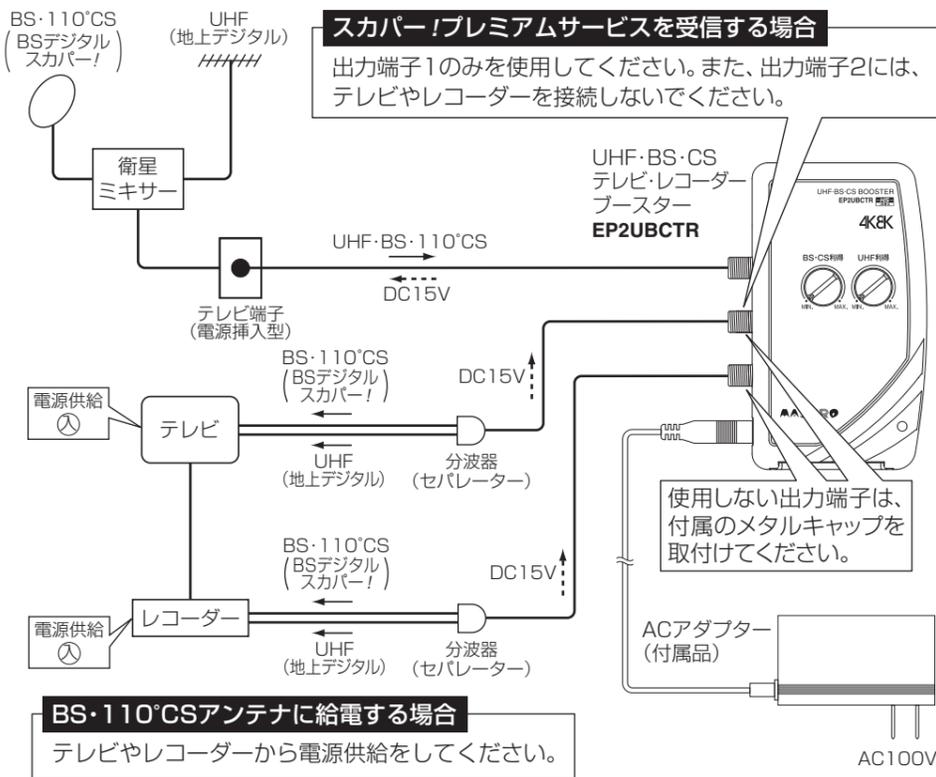


端子面



使用例

4K8K放送を伝送する場合、4K8K放送に対応している機器、ケーブルを使用してください。



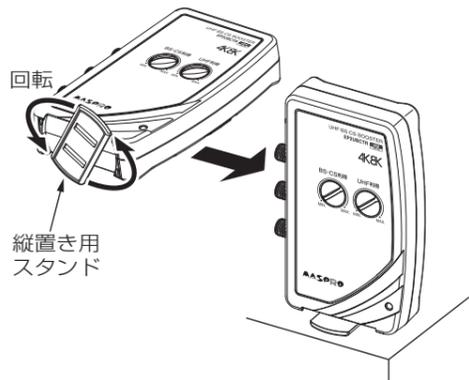
設置方法

ご注意

ブースターをラジオの近くに置くと、ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ、ラジオとブースターを離してお使いください。

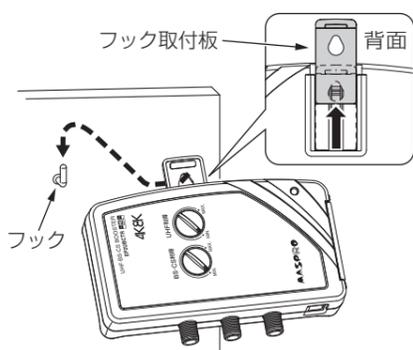
縦置き

縦置き用スタンドを90°回転させて、ブースターを設置します。



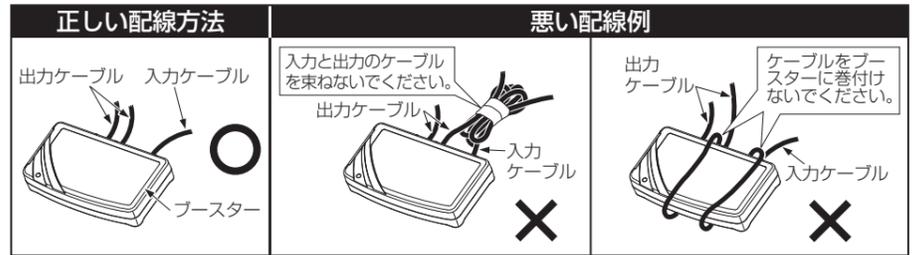
壁面などのフックに掛ける

背面のフック取付板を引き出し、壁面に取付けた市販のフックにフック取付板の○孔を引っ掛けます。



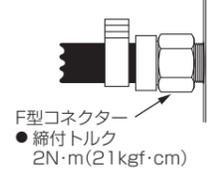
ブースターの配線について

●入力と出力のケーブルは、束ねたり、ブースターに巻付けたりしないでください。



●入力端子・出力端子の接続は、確実に行ってください。

F型コネクタでケーブルを接続する場合、指定のトルクで締付けてください。



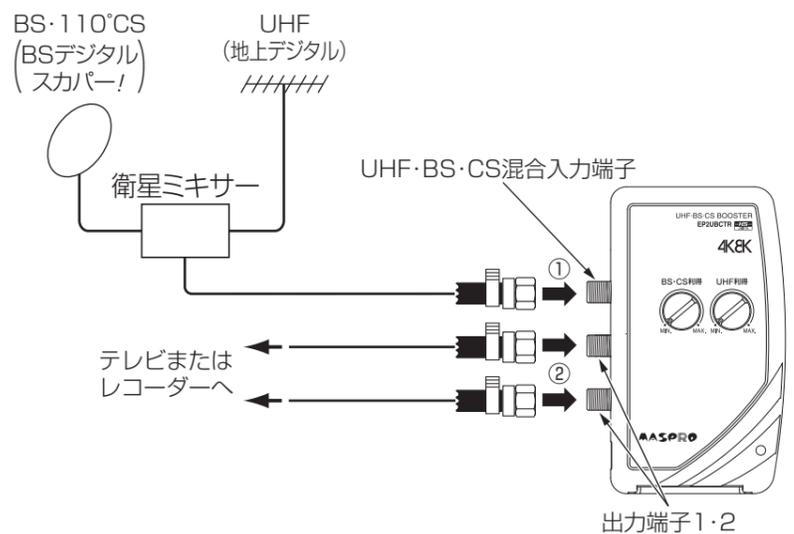
調整方法

デジタル放送受信機のレベル表示について

ブースターを設置しても、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらなかったり、下がったりすることがありますが、ブースターの不具合ではありません。「アンテナレベル」や「受信レベル」は、信号品質(CN比)の換算値を表しており、テレビ信号の強さを表すものではありません。

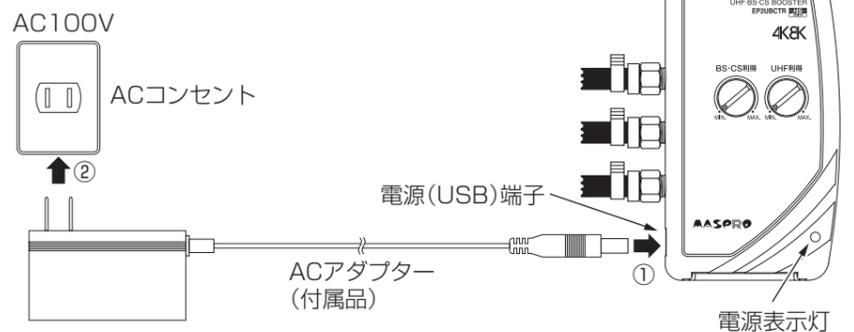
1. ケーブルの接続

- ① UHF・BS・CS混合入力端子にアンテナからのケーブルを接続します。
- ② 出力端子にテレビまたはレコーダーへのケーブルを接続します。
●使用しない出力端子は、付属のメタルキャップを取付けてください。



2. ACアダプターの接続

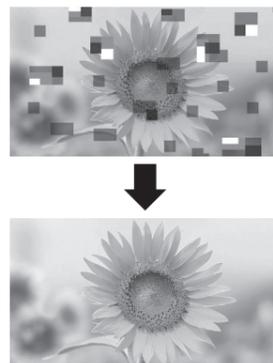
- ① ブースターの電源(USB)端子に、付属のACアダプターを接続します。
- ② ACコンセントに、ACアダプターを差込みます。
- ③ 電源表示灯が点灯したら、接続完了です。



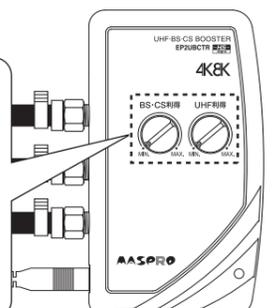
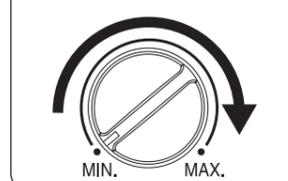
3. 出力レベルの調整

- ① 地上デジタル放送の画像を確認し、モザイク状のノイズが出ている場合、UHF利得調整を右へゆっくり回し、この症状が出ないように調整します。
- ② BSデジタル放送の画像を確認し、モザイク状のノイズが出ている場合、BS・CS利得調整を右へゆっくり回し、この症状が出ないように調整します。

モザイク状のノイズ



利得調整を右へゆっくり回します。

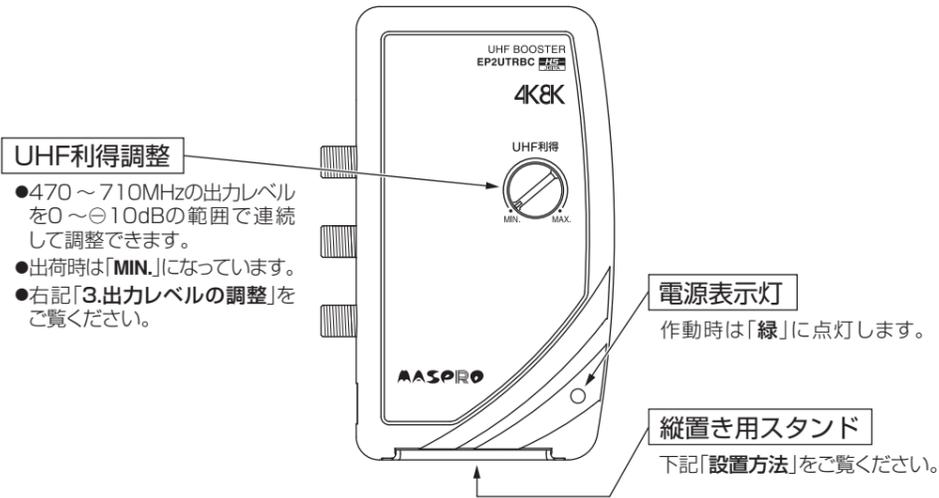


各部の名称と機能

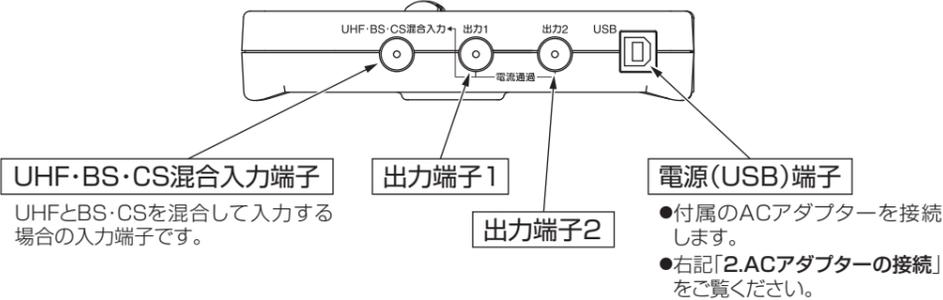
ご注意

利得調整を操作するときは、無理に回すと、こわれることがあります。

前面

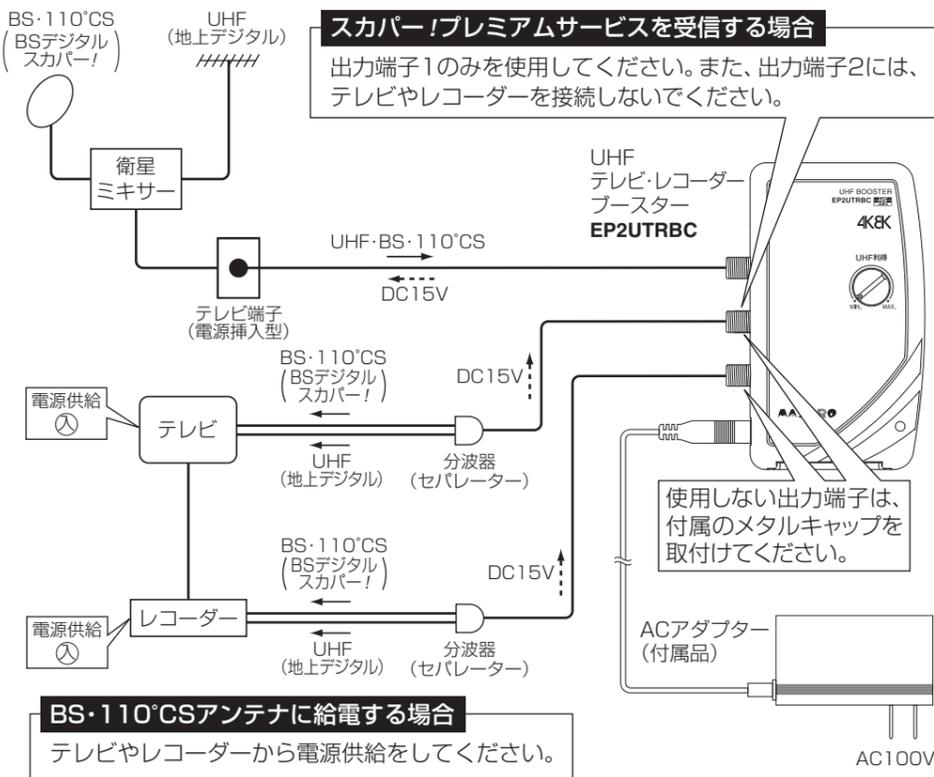


端子面



使用例

4K8K放送を伝送する場合、4K8K放送に対応している機器、ケーブルを使用してください。



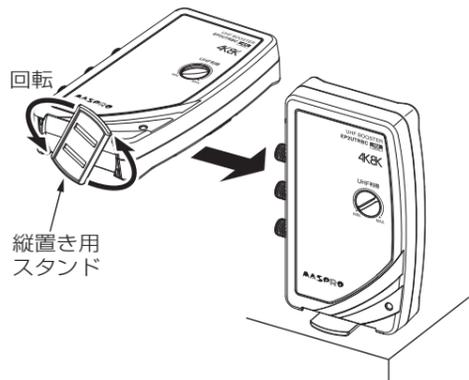
設置方法

ご注意

ブースターをラジオの近くに置くと、ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ、ラジオとブースターを離してお使いください。

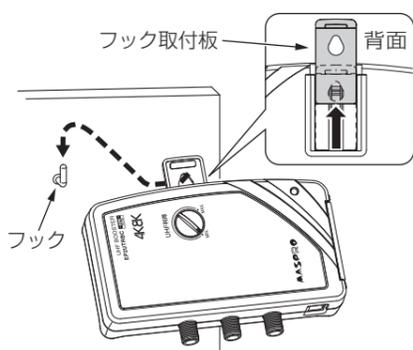
縦置き

縦置き用スタンドを90°回転させて、ブースターを設置します。



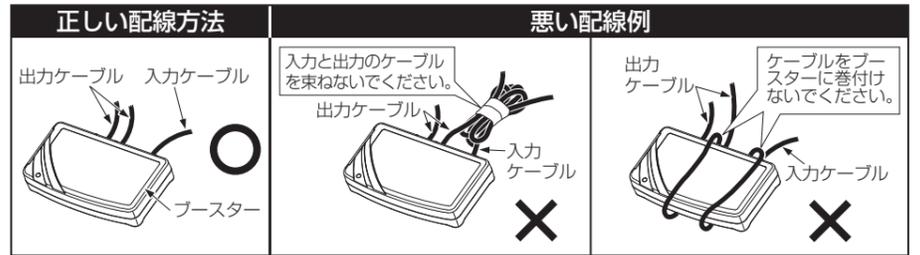
壁面などのフックに掛ける

背面のフック取付板を引き出し、壁面に取付けた市販のフックにフック取付板の○孔を引っ掛けます。



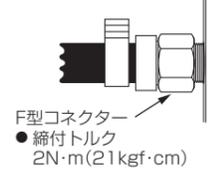
ブースターの配線について

●入力と出力のケーブルは、束ねたり、ブースターに巻付けたりしないでください。



●入力端子・出力端子の接続は、確実に行ってください。

F型コネクタでケーブルを接続する場合、指定のトルクで締付けてください。



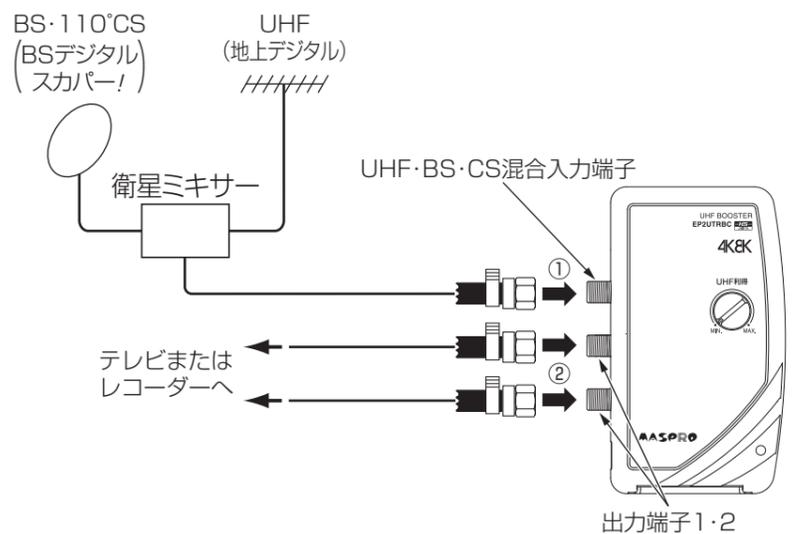
調整方法

デジタル放送受信機のレベル表示について

ブースターを設置しても、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらなかったり、下がったりすることがありますが、ブースターの不具合ではありません。「アンテナレベル」や「受信レベル」は、信号品質(CN比)の換算値を表しており、テレビ信号の強さを表すものではありません。

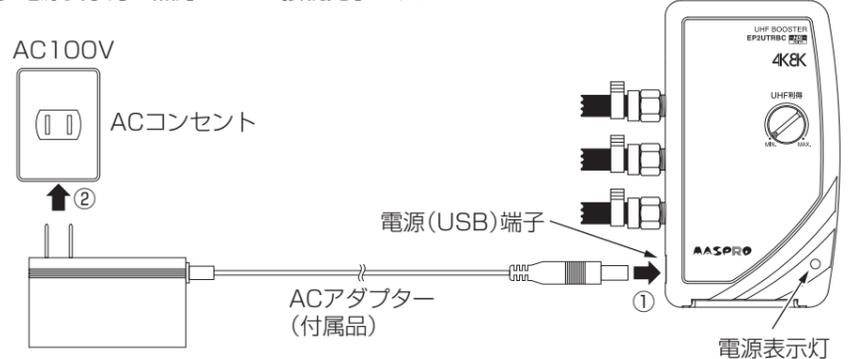
1. ケーブルの接続

- ① UHF・BS・CS混合入力端子にアンテナからのケーブルを接続します。
- ② 出力端子にテレビまたはレコーダーへのケーブルを接続します。
 - 使用しない出力端子は、付属のメタルキャップを取付けてください。



2. ACアダプターの接続

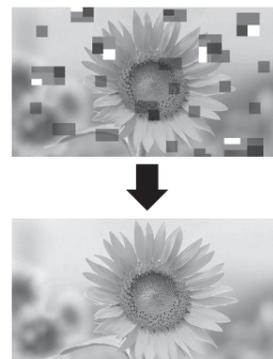
- ① ブースターの電源(USB)端子に、付属のACアダプターを接続します。
- ② ACコンセントに、ACアダプターを差込みます。
- ③ 電源表示灯が点灯したら、接続完了です。



3. 出力レベルの調整

地上デジタル放送の画像を確認し、モザイク状のノイズが出ている場合、UHF利得調整を右へゆっくり回し、この症状が出ないように調整します。

モザイク状のノイズ



利得調整を右へゆっくり回します。

